

8月行事予定表

3(土)	プレベビーマッサージ教室
5(月)	心配ごと相談
6(火)	乳児健診
7(水)	すこやか相談 読み聞かせ・お話し
9(金)	離乳食講座
14(水)	金山まつり・宵まつり 金山町二十歳を祝う会
15(木)	金山まつり本まつり 心配ごと相談
16(金)	納涼花火大会
19(月)	子宮頸がん・乳がん検診
20(火)	1歳児・2歳児歯科健診
21(水)	すこやか相談 人間ドック・総合健診 就学時健診
23(金)	健診結果説明会
24(土)	マタニティ教室
26(月)	心配ごと相談 心の健康相談
29(木)	ベビーマッサージ・ママケア教室
30(金)	健診結果説明会

7/22～8/21 明るいやまがた夏の安全県民運動
8/30～9/5 防災週間

目次

- P3 蔵の会25周年
- P4 金山小学校150周年記念式典
- P6 かねやまの子育て
- P10 まちのわだい
- P14 町政NEWS
- P17 お知らせ掲示板
- P20 ほっとクリニック・防災コラム
わたしと金山
- P22 図書室だより・地域おこし協力隊通信
東京金山会通信・ぶんげい
- P24 わたしの願い

今月の表紙



7月2日、金山中学校2学年の生徒40名を対象にインターンシップが行われました。それぞれ選択した職場で3日間職業を体験し、働く事の意義と地域や自身の未来について考えました。

教育長室から

少子化がものすごい勢いで進んでいます。当町でも、一昨年から小学校が統合して一校となりました。今年の新入生は31名でしたが、来年以降は20数名で推移していきます。20人に満たない年もあります。

そんな中、県内の県立高校も定員割れの状況にある小規模校では、県外生募集が9校に増えました。全国では、144校で取り組んでいます。金山校でも今年度3名の県外生が入学してくれました。6月末に行われた東京での説明会では、金山校のブースに23組の親子が個別相談に参加してくれました。このように小規模校が注目されてきているのは、何故なのでしょう。

「鶏口となるも牛後となるなかれ」（鶏口牛後ということわざがあります。小さい集団であってもその中で長となる方が、大きな集団の中で尻に付き従う者となるより良い、というような意味ですが、小規模校の強みを言い当てているように思います。他者の世話をしたり、いろいろな場面でリーダーとして組織をまとめたりしていく経験は、変化の激しい社会に求められている非認知能力（やる気、忍耐力、協調性、自制心など）を鍛える場となります。都会の大きな学生集団の中に埋没してリーダーの経験もなく卒業していくよりも、いろいろな経験を通して非認知能力を高めていくことは、小規模校でこそ可能性が高いと言えますし、卒業後の伸びしろや成長も期待できると言われています。

小学校や中学校においても、いろいろな教育活動の中で非認知能力の育成に取り組んでいます。学校と地域が協働して、町の未来を担う若者に成長してくれることを願い、一人一人が様々な経験を積める取組を進めていきたいと思えます。

今こそ鶏口牛後



教育長
須藤 信一